

月刊

# さわやか

第28号  
平成21年8月15日

《発行》  
(社)日野市シルバー  
人材センター  
日野市日野本町2-4-7  
0421581-8171

## 全33地域班が市内一斉清掃 街路、公園等でボランティア活動

今年度初の当センター全33地域班によるボランティア一斉清掃が7月19日(日)、市内の公園、駅前商店街、住宅地、浅川河川敷等、計25カ所でおこなわれました。各所では「ボランティア活動中」の黄色いのぼりが立ち、シルバ帽姿が目立ちました。今回の参加者は合計418名でした。

### 日野駅、豊田駅周辺で

開始時間は各班まちまち。トップは午前7時開始の南平3班。次いで程久保班が八時前から動物公園通りのゴミ拾い、草取りを開始。八時に日野本町班が中央福祉センター前に、新町・栄町・神明大坂上・日野台1班の5班連合が日野駅前集結しました。

日野駅周辺にはタバコの吸殻が散乱し、空き缶や弁当容器も捨



西公園に集まった旭が丘2班の皆さん

てられています。コイン駐車場の隅、崖下等にもゴミがあり、シルバ会員たちは黙々と拾い集めています。

他方、豊田駅南口では八時半に豊田・東豊田・東平山・西平山の4班連合が集結。全体が2班に分かれて、線路沿いに東西に移動

会員数	平成21年6月30日
1,655名	
男性 1,269名	
女性 386名	
入会者数	6月 28名
(男18名、女10名)	
但し、退会者	10名

### 浅川河川敷の水辺でも

してゴミ拾い。今回は昨年より東西200m延長し、集めたゴミ昨年より多い12袋可燃6、不燃6。激励にこられた安藤副会長と池田常務理事の姿も見られ、参加者に声をかけていました。

9時から13地域班がスタート。落川交流センターに集まった落川・百草班は、北村会長も参加して浅川河川敷に繰り出し、伸び



浅川河川敷でのゴミ拾い(落川・百草班)

きった草を掻き分けての作業。足場の悪い水辺に浮かぶビニール袋やペットボトルも集めました。高幡台班は高幡台73号棟前に集合。団地のお祭りごぶつかって...という鈴木班長の心配をよそに9名が参加、元気に活動を開始しました。また、旭が丘2班は西公園に集まり、旭が丘小学校までの一帯を清掃。

他の8地域班は10時スタートで各持ち場を清掃しました。三沢班は第五幼稚園前に15名が参加、2班に分かれて程久保川両岸の遊歩道を、東は落川交流センター付近まで、西は七生公会堂までゴミ集めました。(広報部会)

### 登録会員票の更新始まる

平成16年3月31日までに入会された会員の登録会員票の更新手続きが7月27日、日野1班から開始されました。更新手続きは、理事面談で本人持参の会員票を回収します。手続きは毎週3〜4日午前、午後に分け(総選挙の都合で8月下旬は中断)、10月末までに完了する予定。

なお、地域班ごとに順次進めますので、地域によりまだ連絡のない班もあります。ご了解を!

# 女性会員の就業推進、女性理事の交流

## 第七ブロック女性会員研修会から

さる6月26日開催されたシルバ人材センター（SC）第七ブロックの女性会員研修会（前号報道）について報告します。

府中市立ふれあい会館に8市SCから女性理事ら25名が集まり、女性会員の就業推進についての事例発表と、女性理事の交流の場として情報交換をしました。

各SCの事例発表では、やはり中心は子育て支援と家事援助で、どのSCも大変苦労しています。子育て支援では都の認可を受けするのが難しく、家事援助も人員や



第七ブロック女性会員研修会の会場

就業場所の確保に苦しみ、コーディネーターの必要性も話し合われました。そんな中でも活発な取り組みも行われています。特徴的なものを挙げてみると

八王子市SCは平成15年2月、家事援助や福祉関係の人達からの悩みがきっかけで「きさらぎ会」といって女性グループを結成。メンバーは60名。理事、旧理事と、地域からも2名加わり、計15名のスタッフがいて、おしゃべり会（毎月）出前講座、市内散策などを楽しんでいるそうです。

府中市SCでは、「手作りの会」や互助会の人達が盛んに趣味を生かした販売活動をしています。平成20年5月、ふれあいショップ「ゆづり」を開店。

調布市SCは1年間、各地、各所見学に行き、3年前にピノキオを開設して、一時保育事業を始めました。現在2名のコーディネーターを置いています。

今回は女性会員の交流会として有意義で、企画の継続を期待したいと思います。

（渋谷）

リサイクル事務所改修に伴う  
リサイクル・フェア開催  
出店者（個人団体）を募集します

リサイクル事務所は8月下旬に一部改修の工事をします。その改修に伴うリサイクル・フェアを開催することが決まりました。そこで会員の皆様の個人、団体による出店を募集します。8月28日（金）までに事務局へ出店内容を添えてお申込みください。

日時：9月26日（土）  
午前10時～午後2時  
場所：リサイクル事務所  
方願寺656  
出店料：売上額の10%

### 菅原理事が辞任

#### 新総務部長に山本理事

総務部長であった菅原嘉雄理事が一身上の理由で、7月31日付で辞任しました。地域班長は継続。これに伴い新総務部長に山本寛理事が選任されました。

小学校事務補助就業会員会議  
7月27日開催。20名が出席。

第3回地域班長会議 7月14日開催。一斉清掃等を協議。

### 理事会二ニュース

第5回理事会 7月31日  
審議事項：正会員の入会 役員  
の辞任について  
報告事項：6月度事業運営状況 各専門部会・安全管理委員会の活動報告

### 「センター」行事日程

8月27日（木）～30日（日）  
第13回会員作品発表会：日野市民会館・展示室  
8月30日（日）総選挙投票日  
投票区と開票場で選挙事務  
9月15日（火）役員・地域班長合同管外研修：港区SC等

### 09年前期地域班会議終わる

さる6月6日の日野1班会議から始まった今年度の前期地域班会議は、7月26日の落川 百草班会議をもってすべて終了しました。

### 配分金の支払日

8月20日（木）  
9月18日（金）  
10月20日（火）  
11月20日（金）  
12月18日（金）  
1月20日（水）  
2月19日（金）



### 3年で事業4倍化

#### 清掃班が班員懇談会を開く

当センターの職群班の一つ、清掃班の班員懇談会(打合せ会)が7月18日(土)午後、センター会議室で開かれました。高良学班長をはじめ班員三十数名(うち女性10名)が参加しました。

清掃班は平成18年4月発足。7つある職群班のうち、もっとも若い班ですが、この3年余の間に事業高は約4倍化、班員数は発足当初の9名から現在55名に急成長しています(下表参照)。

懇談会は高良班長の挨拶と清掃班の事業報告で開始。「班発足から3年、初めての懇談会開催で



懇談会で紹介された布施さん(右)と渡辺さん

す。今後は全員総会のもりで毎年1回は開いていきたいと高良氏は語りました。

次いで、主要現場と各班員の紹介。注目されたのは、班員の中に80歳を超えてなお現役の方が2名おられ、懇談会にも元気に出席していたことです。布施寿彦さん(86)と渡辺武五郎さん(84)で、一同の拍手を浴びていました。

この後、現場からの発表や意見交換がおこなわれました。

### 地域班長だより

落川 百草班 酒谷 壽夫

落川 百草班には、勉強会(我儘会ともいふ)という会があります。

班員同士の親睦を深め、情報交換や意見交換の場として、ウクレレギターによる演奏と手作りのおつまみを添えて、旨いお酒を酌みながら 意思の疎通をはかる 和気藹々、年に3、4回、もう5年も続いております。

多分、私達の多くは何らかの憂いを背負って生きているにちがいません。

「いやそんな事は一度もなかった。人生楽しみにみち、幸運ですよ

### 清掃班の事業実績

	18年度	19年度
事業高(千円)	6,218	14,517
現場数	31	47
班員(女性)	20(15)	41(30)
	20年度	21年度
事業高(千円)	23,976	30,000
現場数	62	75
班員(女性)	51(25)	55(32)

21年度の事業高と現場数は年度末見込み、班員数は6月末現在。

かった」といつ人も居るかもしれませんが、人生に後悔はつきもの。ああすれば良かったなあという後悔と、もつ一つはどうしてあんなことをしてしまったんだろうという後悔が、交錯するの事実。

結局、一生を真に充実して生きる道は、今日といつ一日を充実して生きる外ありません。日野市シルバー人材センター

の活動を通してその一助になればと思う

こともしばしば。常々、私は二宮尊徳翁の次の道歌(どうか)に、また明日から頑張れるヒントがあるような気がしてなりません。

「山寺の鐘つく僧は見えねども四方(よも)の里人時を知るなり」

### 会員作品発表会

8月27日(木)～30日(日)

午前10時～午後4時(初日午後1時～、最終日午後3時半まで)

日野市民会館 展示室

日野市シルバー人材センター会員の作品発表会です。今年で第13回。会員の皆様多数のご観覧をお待ちしています。併せて、一般市民の皆様もお誘いください。

会員・市民の皆様のご観覧をお待ちしています

### それってなに？

### 第七ブロック

ブロック」続きで恐縮ですが、第七ブロック」もよく使われます。東京都下の全58シルバー人材センター(SCC)は地域ごとに計7つのブロックに分けられ、わが第七ブロックには市制施行順に八王子、府中、調布、町田、日野、狛江、多摩、稲城の8市SCCが属しています。ちなみに区部は第一～四の4ブロック、多摩地域は第五～七の3ブロックに分かれ、北多摩、奥多摩の15市町村SCCは第六ブロックに属します。

# 今年の安全標語 入選作を発表

## 優秀作 1点

まだ若い 気持と体力  
ズレがある

足立 忠弘 (西平山)

## 佳作 5点

健診を 受けて我が身の  
自己管理

渡邊 邦夫 (南平2)

声かけが 事故ゼロ目指す  
第一歩

今泉 孝一 (西平山)

安全に 作業を終えて  
帰路楽し

横東 正良 (平山2)

「これぐらい」 安い気持で  
高いケガ

伊藤 豊 (東豊田)

転倒は 心のみだれ  
気のゆるみ

土方 守蔵 (南平2)

## 応募作品は83点

当センター恒例の安全標語募集(本紙5月号で公募)には、会員の皆様から計83点の応募をいただきました。センター設立30周年記念の昨年よりは少ないものの、一昨年と比べれば3割増でした。

今年のテーマは「危険予知」現場、行き帰り、運転」と「安全就業」(転倒、墜落、健康)。安全管理委員会での選考の結果、上記6点が入選となりました。

(安全管理委員会)

## 入選者6氏を表彰

安全標語で入選した上記6氏は、7月31日に開催された理事会の冒頭で北村会長より表彰を受けました。優秀作品には3000円、佳作には1000円が贈呈されました。

## 熱中症対策で休憩中です

夏場の屋外作業では、水分補給とともに適時な休憩などによる熱中症対策が肝要です。当センター事務局では、下の写真のように「熱中症予防のため作業を中断しています」という看板を用意しました。現場作業もこれで安心!

## 当センターの出張安全講演つづく

既報のように、当センターは7月6日、前橋市に出向き安全就業について講演しましたが、引き続き7月8日、東京しごとセンター(飯田橋)で都下58SCの安全管理委員を対象に、また7月22日には、同じ場所ですべて54SC安全推進担当職員向けに、それぞれ安全就業の講演を行いました。

いずれも当センターからは橋本安全管理委員長と飯森副委員長が出向、「事故ゼロをめざして」と題して橋本委員長が講演し、飯森氏がプロジェクトを操作しました。



「熱中症予防で休憩中」の看板と作業員

## お元気ですか

私がシルバー人材センターに入会したときから、センターでの業務内容で何が公益社団法人としてあるべき姿なのかを、常に考え就業を行い、役員等に専念して参りました。しかし、会議などときに公益性とは違うことも感じられました。

そこで法人のあり方を考えるとき、非営利法人と企業および政府との相違を考えてみるのです。まず企業の大きな目的は利潤の追求です。企業が発展することが人々の安心と幸福をもたらすことです。つぎに政府、地方自治体の役割は外交、防衛など、国家政策としても多様な行政行為が行われます。

一方、非営利法人としての団体は常に公益性を有することを旨として活動を行います。私は公益とは公の利益に資するものであると考えます。共働共助としての考えがここから生まれてくるのではと考えます。古い諺ですが、「世のため、人のため」に行うということが、歴史をとおして考えられるのです。

(菅原嘉雄)